

daito

硬貨選別計数機

DCV-10・DCV-10P

取扱説明書



- 本製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ず本書をお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。
- 本書は、お読みになった後いつでも使用できるように必ず所定の場所に保管してください。

■はじめに

この取扱説明書は硬貨選別計数機DCV-10、DCV-10Pを快適にご使用いただくためのガイドブックです。初めて硬貨選別計数機をご使用になる方はもちろん、すでにご使用なられた経験をお持ちの方もこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解された上でご使用くださいますようお願い致します。



- 記載されている内容は改良の為予告なく変更する事がありますので、ご注意ください。
- 本書の内容は万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社までご連絡ください。

■目次

| | |
|-----------------------------|-------|
| ■ 安全上のご注意 | 2 |
| ■ 警告 | 3 |
| ■ 注意 | 4 |
| ■ 長くご使用いただくために | 4 |
| ■ 付属品 | 5 |
| ■ 本体の名称 | 5 |
| ■ 後部電源関係の名称・説明 | 5 |
| ■ 操作パネルの名称・説明 | 6 |
| ■ アースケーブルを接続する場合 | 7 |
| ■ 計数準備 | 7 |
| ■ 計数方法① バッチ機能を使用しない場合 | 7,8 |
| ■ 計数中にモータを停止する | 8 |
| ■ 金種別の金額または枚数を確認する | 8 |
| ■ 計数を総合計に加算する | 9 |
| ■ 計数の例 | 9 |
| ■ 機能 | 9 |
| ■ 計数データを消去する | 9 |
| ■ 計数方法② バッチ機能を使用する場合 | 10 |
| ■ 2金種以上が同時にバッチ設定枚数になった場合 | 10 |
| ■ 日付・時刻合せ(DCV-10Pのみ) | 11 |
| ■ プリントアウトの方法(DCV-10Pのみ) | 12 |
| ■ プリント用紙の交換方法(DCV-10Pのみ) | 13 |
| ■ エラー表示 | 14,15 |
| ■ モード設定 (バッチ機能の各モード切替えをします) | 16 |
| ■ 計数方法③ バッチ機能の「モード1」を使用する場合 | 17 |
| ■ 計数方法④ バッチ機能の「モード2」を使用する場合 | 17 |
| ■ 本体の清掃方法 | 18 |
| ■ 硬貨通路の清掃方法 | 18 |
| ■ 日常の点検 | 19 |
| ■ 仕様 | 19 |
| ■ 製品保証書 | 20 |

■安全上のご注意

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上正しくお使いください。またお読みになったあと、本書はいつでも記載内容を確認できるような場所に保管してください。

本書を紛失等で確認できなくなった場合は、弊社サービスセンターでお求めください。

本計数機をご使用するにあたり、けがなどの危険が想定される事項を注意シールで説明してありますので、必ず確認してください。またこのシールを剥がしたり汚したりしないでください。

ここに示した注意事項は、お買い上げの製品を安全にお使いいただき、製品が人の身体や財産への損害を未然に防ぐために、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

ここでは取扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の3つのレベル（危険・警告・注意）に分類しています。

なおこれらの記号は、本書の表記で使用されています。

| | |
|--|---|
|  危険 | この表示は、記載内容を無視したときまたは誤って取扱うと、使用者や作業者などが死亡または重傷を負う可能性が想定されるときに使用します。 また、危険発生時の警告の緊急性が高い限定的な場合を示すためにも使用します。 |
|  警告 | この表示は、記載内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が重症を負う可能性が想定されるときに使用します。 |
|  注意 | この表示は、記載内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽症を負う可能性が想定されるときに使用します。 または、物的な損傷が発生する可能性が想定されるときに使用します。 |
|  参考 | この表示は、操作上の注意事項とポイントが記述されています。 |

《その他の絵表示、ピクトグラフ表示例》



△記号は、警告（注意も含む）を促す内容があることを示します。
△記号は、具体的な警告（注意も含む）内容が表示されます。
右の例は、一般的な警告、注意事項を示しています。



○記号は、禁止行為を示しています。
○の中には、禁止されている内容が表示されます。
右の例は、分解禁止を示しています。



●記号は、作業時などに行為を強制または指示する内容があることを示しています。
●の中には具体的な強制事項の内容が表示されます。
右の例は、コンセントからプラグを抜く行為の強制を示しています。





警告



禁止

- 製品は取扱説明書の仕様に記載された環境下で使用ください。
仕様環境以外で使用になると、火災および感電の原因になります。



分解禁止

- 部品を改造したり、部品を変更して製品に取り付けしないでください。
また、取扱説明書に開閉指示のない箇所およびネジなどで固定しているカバー、部品などを取り出さないでください。火災、感電、故障、怪我の原因になります。



電源プラグを抜く

- 製品から発煙したり、異常な臭い、音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けたり、放置するとショートして火災や感電する恐れがあります。
弊社サービスセンターまでご連絡ください。



強制

- 製品の上に水の入った花瓶、コップなどを置かないでください。水がこぼれて製品内部に入ると絶縁が悪くなり、火災や感電の原因になります。



禁止

- 製品の内部や隙間にクリップ、ステープラー針などの金属片を落とさないでください。
製品内部の電気回路に接触すると火災の原因になります。



禁止

- 家庭用コンセント（AC100V電源）以外のコンセントには、電源プラグを差し込まないでください。
異なる電圧で使用すると、ショートしたり発熱、発煙、火災の原因になります。



強制

- 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んで使用してください。
差し込みが不十分の状態で使用するとショートしたり発熱など、火災や感電の原因になります。



電源プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持って抜かないでください。
電源ケーブル、電源プラグ、およびコンセントが傷ついて、火災や感電の原因になります。



禁止

- 電源ケーブルに重いものを載せたり、熱源の近くを通したり、曲げたり、ねじれたままコンセントに差し込まないでください。電源コードに傷がついて、火災や感電の恐れがあります。



強制

- 電源プラグ、ケーブルは定期的に点検してください。
電源プラグがこわれたり、ケーブルが破れているときは使用を中止し、弊社サービスセンターまでご連絡ください。火災や感電の恐れがあります。



禁止

- 火災の原因になりますので延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。



禁止

- 製品、電源プラグおよびケーブルに触れるときは、濡れた手で触れないでください。
感電する恐れがあります。



電源プラグを抜く

- 清掃するときは必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電および怪我の原因になります。



電源プラグを抜く

- 長期間で使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
ほこりがたまって発熱、発火の原因になります。



強制

- 製品の内部やケーブル類に小さなお子様の手が届かないように製品を設置してください。
触って怪我をする危険があります。



強制

- 製品を保管するビニールカバーは小さなお子様がかぶらないように注意してください。
窒息する危険があります。

注意



禁止

- 火災、感電、故障の原因になる恐れがありますので、製品およびコードなどの損傷が予想される場所には設置しないでください。
火気の近く、湿気やほこりの多い場所、振動の激しい場所、平らでない場所、落下の可能性のある場所、直射日光の当たる場所、冷暖房機の近く、水のかかる場所、強い磁気や静電気が発生する場所。



禁止

- 製品の周辺、内部に可燃物を置いたり入れたりしないでください。
製品から発熱や電源からの引火により爆発および火災の原因になります。



強制

- 製品が水没した時は、使用しないで弊社サービスセンターまで問い合わせをして、修理、点検を依頼してください。
そのまま使用すると火災、感電の原因になります。



禁止

- 設置床面が製品の重さに耐えられない場所や、傾きおよび凸凹で設置に不安定な場所には、設置しないでください。
床面の没落陥没事故および製品がふいに動き怪我をする恐れがあります。



強制

- 設置、ご使用の際は、ホッパーカバー、計数部カバー、プリンタ前部の開閉や操作が十分可能な空間をお取りください。
操作中に製品が身体に当たったりすると怪我や、製品が破損する恐れがあります。



注意

- 製品の上にものを置かないでください。
製品にきずが付いたり、破損する恐れがあります。



注意

- 製品に貼付されているラベルおよび取扱説明書の指示に従ってください。
誤った操作をしたときに、怪我をする恐れがあります。



注意

- 製品のホッパーカバー、計数部カバー、プリンタ前部を開閉する時、手や指を挟まないようにご注意ください。
また、開閉時には無理な力を加えないでください。破損する恐れがあります。

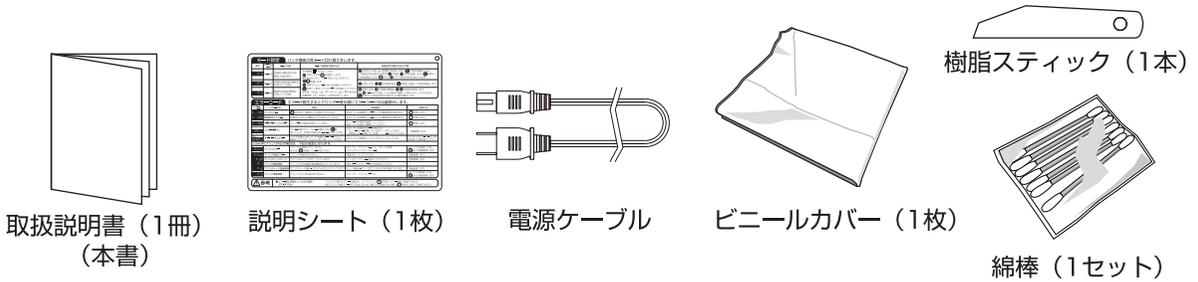
■長くご使用いただくために

長くご使用いただくために、次のような場所への設置は避けてください。
また、次の事項は製品の老朽化を早め、故障や誤動作の原因になります。

- 直接日光のあたる場所への設置は避けてください。
- ストーブやヒーター等への近く、製品の一部の温度が上昇するところや、クーラー、暖房器具、換気口から直接、風があたる場所は避けてください。
- ほこりや振動の多い場所は避けてください。
- 設置場所が冷え切っているときは、急に暖房すると水分が装置内部に付着します。
- 次に定める範囲の温度、湿度の環境下でご使用ください。
屋内専用、温度：5℃～35℃、湿度：80%RH以下（ただし、結露なきこと）
- 製品のホッパーカバー、計数部カバー、プリンタ前部を開閉するときは、無理な力を加えないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて使用時と同様の環境下に保管してください。

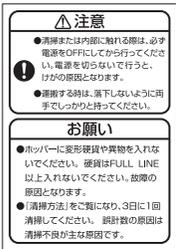
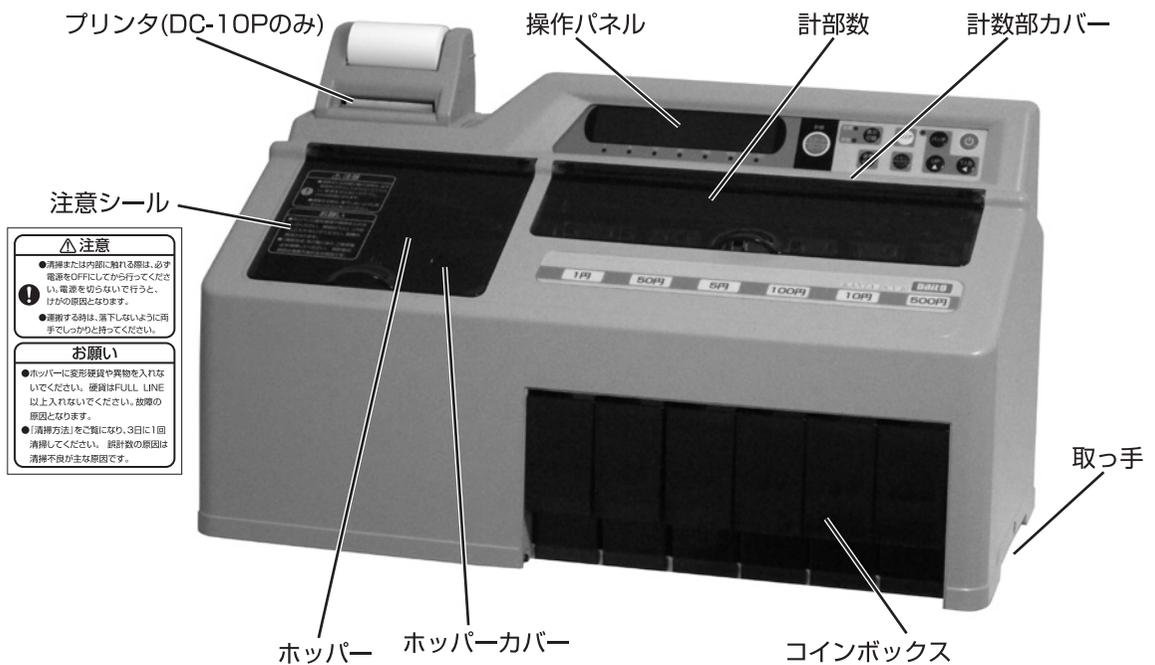
■付属品

※付属品が全て入っているかご確認ください。

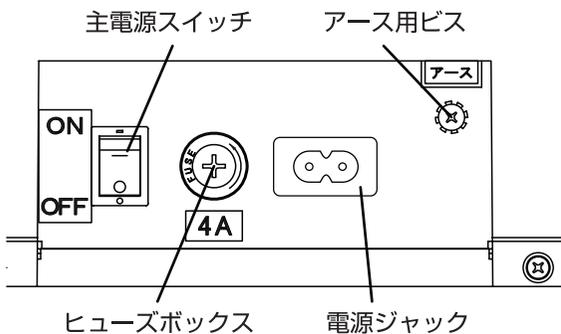


■本体の名称

※計数機各部の安全ラベル等の説明内容を守っていただきご使用ください。

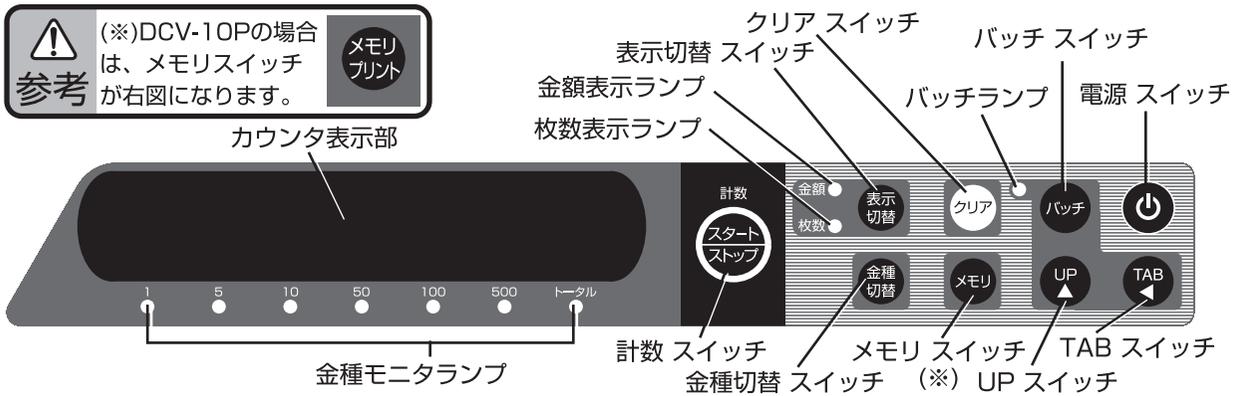
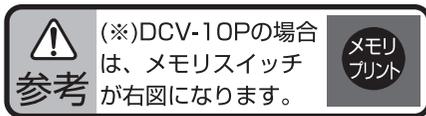


■後部電源関係の名称・説明



- 主電源スイッチ
・AC100Vの電源をON/OFFします。
- ヒューズボックス
1. ガラス管ヒューズ (φ6.4×30 AC125V 4A) が入っています
2. 電源が入らないときは、ドライバーにて外しヒューズの有無、または切れていないかの確認をしてください。
- 電源ジャック
・電源ケーブルを差込み家庭用コンセントに接続してください。
- アース用ビス
・別売または市販のアースケーブルが接続できます。

■操作パネルの名称・説明



●電源 スイッチ

- 1.主電源をONした後に押すと電源がONします。OFFするときは長押しします。
- 2.DCV-10Pの場合、日付・時刻合せのときは金種切替スイッチを押したまま電源スイッチを押します。

●バッチ スイッチ

- ・バッチ機能のON/OFFをします。
(バッチ機能ON時：バッチ処理点灯)

●UP スイッチ

- 1.バッチ機能を使用する時に、1回押す毎に数値が一つ上がります。
- 2.DCV-10Pの場合、1秒間長押しすると、プリンタ用紙を1行ずつ送ります。

●TAB スイッチ

- ・バッチ機能を使用する時に押すと桁が移動(桁上がり)します。

●計数 スイッチ

- 1.計数のスタートとストップをします。
(一回押す毎に切替わります)
- 2.バッチ機能を使用したときに設定枚数の記憶と計数のスタートをします。
- 3.モード設定のときにモードの記憶をします。
- 4.DCV-10Pの場合、日付・時刻合せのときに設定した日付・時刻を記憶します。

●クリア スイッチ

- 1.計数表示中は、計数内訳をクリアします。
- 2.総合計表示中は、総合計をクリアします。
- 3.バッチ表示中は、計数表示に戻ります。
- 4.DCV-10Pの場合、日付・時刻合せのときに設定中の数値を加算します。
- 5.DCV-10Pの場合、プリンタに関するエラーを一時的に解除することができます。

●メモリ スイッチ(*)

- 1.計数後の計数内訳を総合計(メモリ)へ加算して表示します。(計数内訳は消去されます)
- 2.計数内訳を総合計に加算した後に総合計を表示します。
- 3.DCV-10Pの場合、計数内訳をプリントアウトします。

- 4.DCV-10Pの場合、総合計表示のときに総合計をプリントアウトします。
- 5.DCV-10Pの場合、日付・時刻合せのときに設定中の数値を減算します。
- 6.バッチ表示中は、計数表示に戻ります。

●金種切替 スイッチ

- 1.計数表示中は、計数内訳の各金種別の表示をします。
- 2.総合計表示中は、総合計の各金種別の表示をします。
- 3.バッチ機能時の表示切替をします。
(金額表示ランプ、枚数表示ランプの位置により表示内容は異なります)
- 4.DCV-10Pの場合、日付・時刻合せのときに年、月、日、時、分の切替えをします。

●表示切替 スイッチ

- ・各金種別の表示のとき(金種モニタランプがトータル以外の位置にあるとき)金額/枚数の表示切替をします。
(金額表示状態時：金額表示ランプ点灯)
(枚数表示状態時：枚数表示ランプ点灯)

●カウンタ表示部

- 1.計数表示、総合計表示、エラー表示をします。
- 2.計数表示、及び総合計表示は6桁まで表示します。

●金種モニタランプ

- 1.計数表示、エラー時に点灯します。
- 2.総合計表示時にはトータルランプが点滅します。

- 計数内訳・計数された硬貨の各金種別の「金額」、「枚数」、「合計金額」です。
- 総合計・全ての「計数内訳」を合計した各金種別の「金額」、「枚数」、「総合計金額」です。

●バッチランプ

- ・バッチ機能ON時に点灯します。

●金額表示ランプ

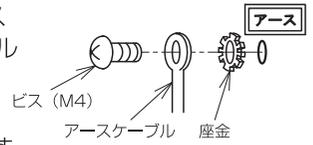
- ・金額表示状態の時に点灯します。

●枚数表示ランプ

- ・枚数表示状態の時に点灯します。

■アースケーブルを接続する場合（任意の接続となります。）

- 1.別売または市販のアースケーブル(φ4用の端子付きケーブル)を使用してアースを接地する場合には後部のアース表示の下にありますビスと座金の間にケーブルを取付けて、反対側はコンセントのアース端子に接続してください。
- 2.コンセントにアース端子がないときは、お買上げの販売店か電気工事店にご相談ください。アース工事は電気工事士によるD種接地工事が必要となります。



⚠ 注意

- ガス管や水道管、電話線、避雷針には絶対に接続しないでください。
- アース線の取り付け、取り外しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。

■計数準備

- 1.計数機本体を持ち運ぶ場合は、両側の下にある取っ手に手を掛けしっかり持ってください。
- 2.安定した平らな場所に設置してください。
- 3.後部の主電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
- 4.電源コードのプラグを家庭用コンセントに接続してください。(AC100V、50/60Hz)

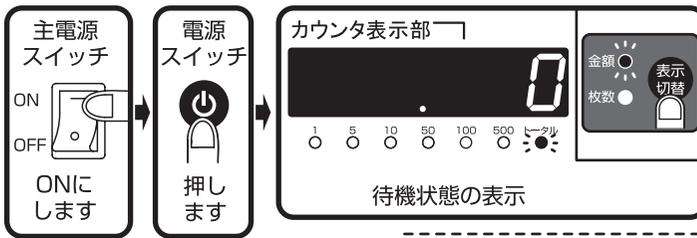
主電源スイッチ



⚠ 注意

- 計数機本体を持ち運ぶ場合は、両側の下にある取っ手に手を掛けてしっかり持ってください。落下した場合けがをしたり、製品が破損することがあります。
- 故障の原因になりますので、設置の際は激しい衝撃を与えないように静かに置いてください。

■計数方法① バッチ機能を使用しない場合



- 1.後部の主電源スイッチを「ON」にしてください。
- 2.電源スイッチ を押して電源を「ON」にしてください。
 - カウンタ表示部、各ランプが全点滅します。
 - 待機状態 の表示に切替わります。
- 3.ホッパーカバーを開け、ホッパー内の「FULL LINE」表示を確認してホッパー内に硬貨を入れてください。

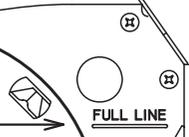
⚠ 注意

- 枚数が多い場合には、数回に分けて計数してください。
- 怪我の原因になりますので、ホッパー内部を指で直接触らないでください。
- ホッパーカバーを開閉する時、無理な力を加えると、破損の原因になります。
- 国内流通硬貨（1円、5円、10円、50円、100円、500円）以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- 硬貨以外の紙やクリップ等の異物は、故障の原因となりますので、ホッパー内には入れないでください。

⚠ 注意

- ホッパー内のFULL LINEの赤い線以上には、硬貨を入れないでください。

この線以上には硬貨を入れないでください



- ホッパー容量：400枚/100円硬貨

- 4.硬貨をホッパー内に入れた後、ホッパーカバー及び計数部カバーを必ず閉めてください。

- 安全のため、カバーが開いたままになっていると計数を開始しません。

5. 計数スイッチ  を押すと計数が始まります。

●安全のため、計数中にホッパーカバー及び計数部カバーを開けると計数を停止します。

カバーを閉めた後、計数スイッチ  を押すと計数を再開します。

6. 計数が終了するとカウンタ表示部に、計数金額が表示されます。

7. ホッパー内に硬貨が残っていないことを確認して計数スイッチ  を押すとモータが停止します。

●計数スイッチ  を押さない場合は、約11秒後に自動的にモータが停止します。

●続けて計数を行う場合は、硬貨をホッパーに入れ、計数スイッチ  を再度押してください。

8. 全ての計数を終了したら電源スイッチ  を長押しして電源を「OFF」にしてください。

9. 後部の主電源スイッチを「OFF」にしてください。



⚠ 参考

●ホッパー内で硬貨が詰まったときは、計数スイッチ  を押してモータを停止させてからホッパー内の硬貨を取り除くか、計数スイッチ  を数回押して解除してください。

●電源スイッチ  または主電源スイッチを一度OFFにすると、計数データが消去されますので注意してください。

●計数中にコインボックスが硬貨でいっぱいになった場合は、計数スイッチ  を押してモータを止めてからコインボックスの硬貨を取り出してください。

●取り出したあと、計数スイッチ  を押して続けて計数してください。

⚠ 参考

コインボックスの容量

| | | | |
|-----|---------|------|---------|
| 1円 | : 約105枚 | 50円 | : 約120枚 |
| 5円 | : 約120枚 | 100円 | : 約105枚 |
| 10円 | : 約100枚 | 500円 | : 約80枚 |



●長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■計数中にモータを停止する

計数スイッチ  を押すと計数は停止します。

計数を再開するときは再度、計数スイッチ  を押してください。

■金種別の金額または枚数を確認する

●各金種別の表示のとき（金種モニタランプの位置がトータル以外の位置にあるとき）、表示切替スイッチ  を押す毎にカウンタ表示部の表示内容が切替わります。

1. 金額表示状態（ランプ点灯）の時

●金種切替スイッチ  を押すと

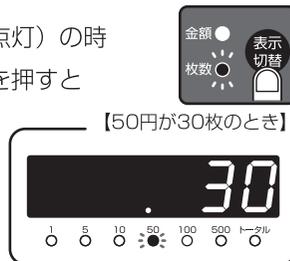
金種モニタランプの点灯位置が変わり、知りたい硬貨の金額が表示されます。



2. 枚数表示状態（ランプ点灯）の時

●金種切替スイッチ  を押すと

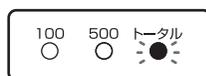
金種モニタランプの点灯位置が変わり、知りたい硬貨の金額が表示されます。



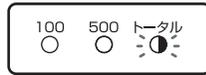
⚠ 参考

トータルランプについて

●点灯しているとき
合計金額の表示のみで
合計枚数は表示しません。

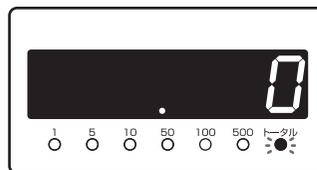


●点滅しているとき
総合計金額の表示のみで
合計枚数は表示しません。



●トータルランプが点灯または点滅しているときは表示切替スイッチは無効になっています。

●枚数表示（枚数表示ランプが点灯）しているときに金種切替スイッチを押してトータルランプ位置にすると金額表示（金額表示ランプ点灯）に切替わります。



参考 (※)DCV-10Pの場合は、メモリスイッチが右図になります。

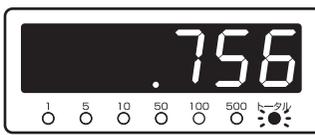


■計数を総合計に加算する

1. 計数が終了する度にメモリスイッチ **メモリ** (※)を押すと、計数データが記憶され累計、総合計に加算されます。(総合計金額を表示します)
●その際、計数内訳は消去されて待機状態 **0** が表示されます。
2. 総合計を確認する場合は再度、メモリスイッチ **メモリ** (※)を押してください。
(合計2回押すことになります)
- トータルランプが点滅します。
3. 硬貨別の総合計金額または総枚数を確認する場合は、総合計を表示させてから表示切替スイッチ **表示切替** を押してください。
●表示切替スイッチを押すことにより知りたい硬貨の総合計金額または総枚数が表示されます。

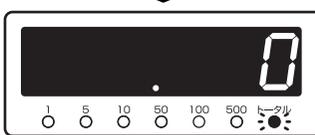


■計数の例

- 2回計数をして総金額を確認する場合
 - ①1回目の計数が終了し、756円になっている時
 

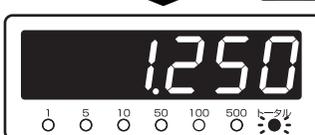
メモリスイッチ (※)を押します **メモリ**

計数データを記憶して、「0」を表示します。


 - ②2回目の計数

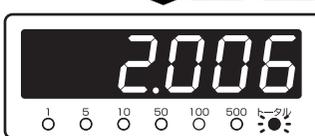
計数を開始 **スタートストップ**

計数終了 (1250円)



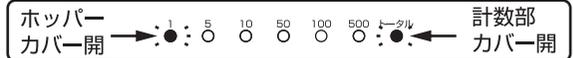
メモリスイッチ (※)を2回押します **メモリ** **メモリ**

①+②の総合計が表示されます。



■機能

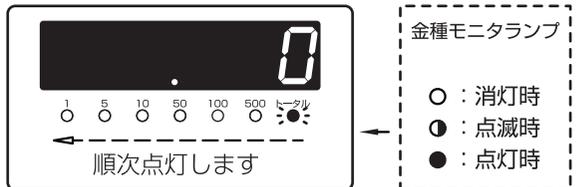
- ◎《オートストップ機能》
 1. 計数中に3秒間カウントがないとき、1秒間停止した後、再度回転します。
 2. 1.の項を3回繰り返してモータが停止します。
- ◎《カバーオープンストップ機能》
 1. ホッパーカバー、計数部カバーが開いているときは、計数スイッチ **スタートストップ** を押しても動作しません。
その際、**-OPEN-** と表示され開いているカバー側の金種モニタランプ (1円ランプまたは、トータルランプ) が点灯します。



2. 計数中にホッパーカバー、計数部カバーを開けるとモータが停止します。1の項と同様のカバーオープンが表示されます。
3. 計数を行うには、開いているカバーを閉めた後、計数スイッチ **スタートストップ** を押してください。

■計数データを消去する

- ①計数内訳
クリアスイッチ **クリア** を約2秒間長押ししてください。
- ②総合計
総合計 (メモリスイッチ (※)を **メモリ** 押して加算したとき)が表示されている状態でクリアスイッチ **クリア** を約2秒間押ししてください。
- 消去が有効になるまでの約2秒の間、金種モニタランプのトータルランプから1円ランプまで順次点灯します。
- 金種モニタランプが全点灯後、トータルランプのみが点灯して、待機状態「0」の表示になります。



参考

- クリアスイッチを全点灯前に離した場合は内容は消去されません。

■計数方法② バッチ機能を使用する場合（任意で計数枚数を設定できます）

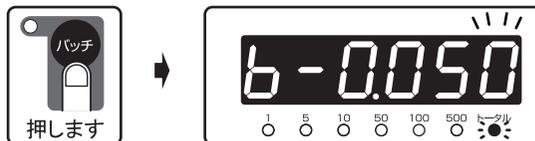
- 1.後部の主電源スイッチを「ON」にしてください。
- 2.電源スイッチ  を押してください。
- 3.バッチスイッチ  を押します。

- バッチランプが点灯します。
- カウンタ表示部の下1の位が点滅します。
- 初期値は50枚になっています。

- 4.バッチの枚数を変更する場合は、UPスイッチと  TABスイッチ  を使用して数値を変更することができます。

- 5.7ページの「■計数方法① バッチ機能を使用しない場合」の3.から計数を開始してください。

バッチ枚数は50枚になっています（初期値）



⚠ 参考

- UPスイッチ  は押す度に数値が1上がります。
- TABスイッチ  は押す度に桁が1移動します。
- バッチ枚数設定値の範囲は、1～9999 まで。
- バッチ設定枚数値が0のときは、通常の計数になります。

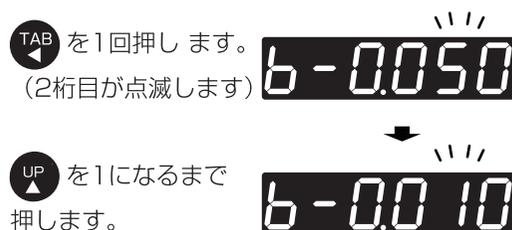
!

注意

- 計数スイッチ  を押すと設定したバッチ枚数がメモリに記憶されて計数を開始します。
- 設定したバッチ枚数は、バッチスイッチをもう一度押してOFF（バッチランプ消灯）すると消去されます。
- 電源をOFFしても消去されます。
- バッチの枚数設定によってはコインボックスから硬貨があふれる場合があります。
- バッチ機能時に残り1枚になるとオーバーラン回避のために回転数が落ちます。

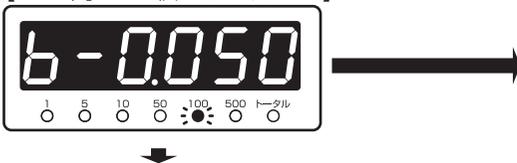


【バッチ枚数設定の例】（10枚の設定例）



- 6.ある金種が設定した枚数になると、モータが停止します。その金種の金種モニタランプが点灯しカウンタ表示部に金種「6 - 枚数」が表示されます。

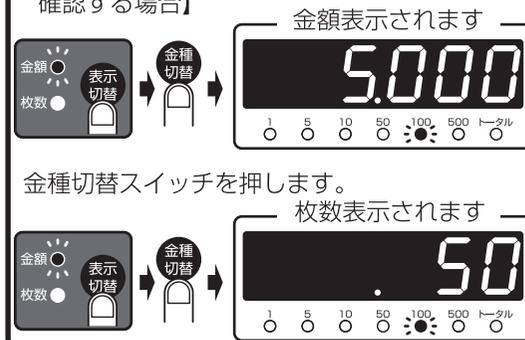
【100円が50枚になったとき】



【バッチになった時に他の金種を確認する場合】

- ・クリアスイッチまたはメモリスイッチ（総合計には加算されません）を1回押すと通常の計数表示に戻ります。
- ・通常時の確認と同様に、金種切替スイッチで知りたい金種に移動させてください。
- ・表示切替スイッチで金額または枚数を表示してください。

【バッチになった金種の合計金額と合計枚数を確認する場合】

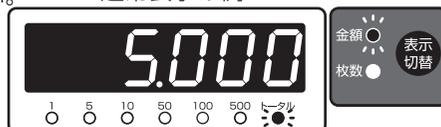


⚠ 注意

- この時、バッチ表示は解除されます。
- クリアスイッチを2秒間押すと現在までの計数データが消去されてしまいます。

- 7.表示された金種のコインボックスから硬貨を取り出してください。
- 8.計数スイッチ  を押すと、カウンタ表示部は通常表示に戻り、計数が再開してバッチ機能が続きます。

通常表示の例

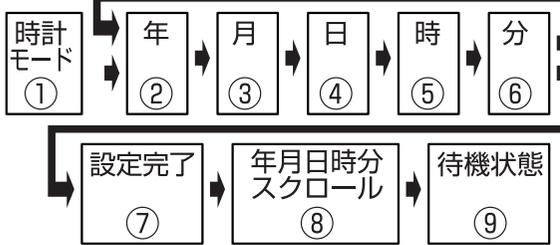


■2金種以上が同時にバッチ設定枚数になった場合

- 1.最初にバッチ枚数に達した金種からバッチ表示を行います。（モニタランプが点灯します）
- 2.表示された金種のコインボックスから硬貨を取り出してください。
- 3.計数スイッチ  を押すと、次の金種のバッチ表示を行います。
- 4.表示された金種のコインボックスから硬貨を取り出してください。

■日付・時刻合せ (DCV-10Pのみ)

《日付・時刻合せの手順》

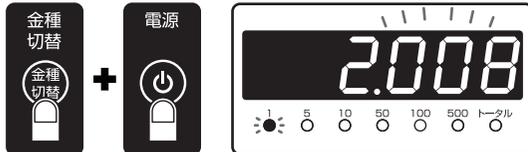


【例では「2008年1月15日13時20分」の設定をします。】

・後部の主電源スイッチを「ON」にしてください。



①時計モード



1. 金種切替スイッチを押したまま電源スイッチを押して電源をONにします。
2. カウンタ表示部に「年」(西暦)が点滅表示されますので、金種切替スイッチと電源スイッチを離してください。

②年設定

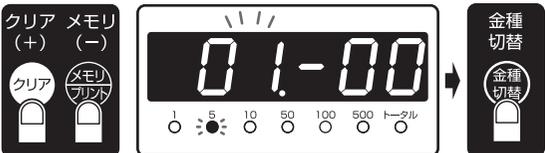


1. クリアスイッチ(+)、メモリスイッチ(-)で年の設定を行います。(変更しないときは押しません)
2. 設定後に金種切替スイッチを押します。

⚠ 参考

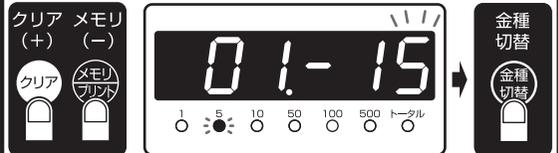
- クリアスイッチ(+)、メモリスイッチ(-)は、長押しすると早送りします。
- 設定範囲は2008年～2099年まで。

③月設定



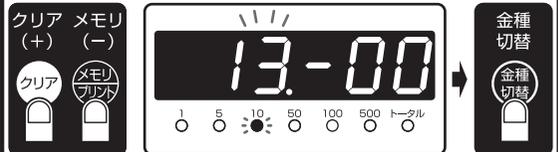
1. クリアスイッチ(+)、メモリスイッチ(-)で月の設定を行います。
2. 設定後に金種切替スイッチを押します。

④日設定



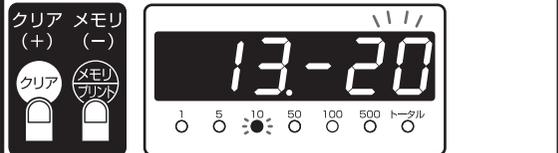
1. クリアスイッチ(+)、メモリスイッチ(-)で日の設定を行います。
2. 設定後に金種切替スイッチを押します。

⑤時設定



1. クリアスイッチ(+)、メモリスイッチ(-)で時の設定を行います。
2. 設定後に金種切替スイッチを押します。

⑥分設定



1. クリアスイッチ(+)、メモリスイッチ(-)で分の設定を行います。
2. 設定後に金種切替スイッチを押します。

⑦設定完了

1. 計数スイッチを押します。
2. 設定内容が記憶されます。



⚠ 参考

設定をやり直す場合は、計数スイッチを押さずに金種切替スイッチを押すと②の年設定に戻ります。

⑧スクロール表示



1. 設定内容がスクロール表示されます。

⑨スクロール表示

1. 全点滅、型式名を表示後に待機状態を表示します。



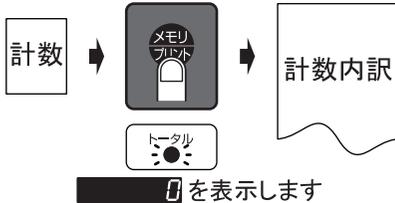
■プリントアウトの方法 (DCV-10Pのみ)

- プリントアウトで「計数内訳」または「総合計」の一覧が印字されます。
- 「計数内訳」とは・・・計数された硬貨の各金種別の「金額」、「枚数」、「合計金額」です。
- 「総合計」とは・・・全ての「計数内訳」を合計した各金種別の「金額」、「枚数」、「総合計金額」です。

⚠ 参考

- 電源を「OFF」またはクリアスイッチを2秒間長押しして内容を消去しない限りは、今までの「計数内訳」「総合計」データを記憶しています。ただし、計数が終了してプリントアウトの前にクリアスイッチを2秒間長押しして内容を消去すると、その計数データは消去されてしまいますのでご注意ください。

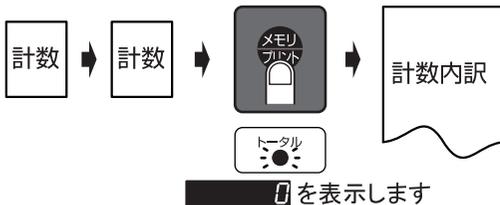
1. 「計数内訳」をプリントアウトする。
・計数後にメモリスイッチを1度押します。



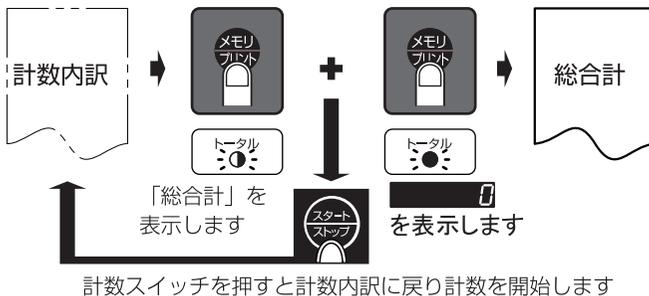
⚠ 参考

- メモリスイッチを押してプリントアウトすると計数内訳は消去されてカウンタ表示部に「0」が表示されます。(総合計に加算されます。)

2. 硬貨を追加して「計数内訳」をプリントアウトする。
・最後の計数後にメモリスイッチを1度押します。



3. 「総合計」をプリントアウトする。
・計数内訳プリントアウト後にメモリスイッチを2度押します。



- ### ⚠ 注意
- プリンタ用紙をカットする際に手を切る恐れがありますのでカット部の金属に注意してください。
 - 「計数内訳」、「総合計」の枚数は、6桁 (000,000枚) まで印字します。7桁以上の桁は印字されません。
 - 「計数内訳」、「総合計」の金額は、7桁 (¥0,000,000) まで印字します。8桁以上の桁は印字されません。
 - 「計数内訳」、「総合計」が「0」の場合 (クリアスイッチで内容の消去等)、メモリスイッチを押してもプリントアウトはできません。

計数内訳の例

< 計 数 内 訳 >

2008年01月15日(火) 13:20
◆ No. 1

| | | |
|----------|-----|----------------|
| 500円 | 20枚 | ¥10,000 |
| 100円 | 20枚 | ¥2,000 |
| 50円 | 20枚 | ¥1,000 |
| 10円 | 20枚 | ¥200 |
| 5円 | 20枚 | ¥100 |
| 1円 | 20枚 | ¥20 |
| 計 | | ¥13,320 |

計数内訳の例(2回目)

< 計 数 内 訳 >

2008年01月15日(火) 13:21
◆ No. 2

| | | |
|----------|-----|----------------|
| 500円 | 50枚 | ¥25,000 |
| 100円 | 40枚 | ¥4,000 |
| 50円 | 30枚 | ¥1,500 |
| 10円 | 10枚 | ¥100 |
| 5円 | 50枚 | ¥250 |
| 1円 | 50枚 | ¥50 |
| 計 | | ¥30,900 |

総合計の例

< 総 合 計 >

2008年01月15日(火) 13:23

| | | |
|----------|-----|----------------|
| 500円 | 70枚 | ¥35,000 |
| 100円 | 60枚 | ¥6,000 |
| 50円 | 50枚 | ¥25,000 |
| 10円 | 30枚 | ¥300 |
| 5円 | 70枚 | ¥350 |
| 1円 | 70枚 | ¥70 |
| 計 | | ¥44,220 |

参考

- プリンタ用紙がなくなると **P-End** が点滅表示されます。
- プリンタ用紙がない状態で電源をONすると **P-Err** が表示されます。
このときはプリンタ用紙を入れてからクリアスイッチ(クリア)を押してください。
エラー表示が解除されて、待機状態になります。

1. プリンタの両側の凸部を押して、前部を上引き上げます。(図1)
2. 図2の様に本体の角穴にリブ部を入れてください。
3. プリンタ前部を押さえながら、ロール紙固定軸を引き抜いてください。(図2)
4. ロール紙固定軸をプリンタ用紙に入れてプリンタ上部に差し込んでください。(図2)
5. プリンタ用紙を給紙案内板に沿って挿入してください。(図2)
6. プリンタ用紙が自動的に定位置まで送られます。
7. プリンタ前部を元の位置に戻します。

注意

- ヘッドアップレバーが横の状態または主電源がOFFの場合は自動挿入されません。
- ヘッドアップレバーが横の状態では **P-UP** が表示されます。
- プリンタ用紙が真っ直ぐ入らなかった場合はヘッドアップレバーを横にしてからツマミを左(反時計方向)に回してプリンタ用紙を抜いてください。(図3)
- プリンタ用紙の先端のカールがきつい場合は逆方向に丸め真っ直ぐに直してください。
- プリンタを長時間使用しない時はヘッドアップレバーを横状態にしておいてください。

参考

- プリンタ用紙はバッチUPスイッチ(UP)を1秒間長押しすると1行づつ送ることができます。

参考

- プリンタ用紙は指定品をお使いください。
サーマルロール紙 紙厚(62 μ m) 紙幅58.0 mm
三菱製紙 F220VP 直径30mm 芯内径 ϕ 9mm

上に引き上げて手前に引き下げます

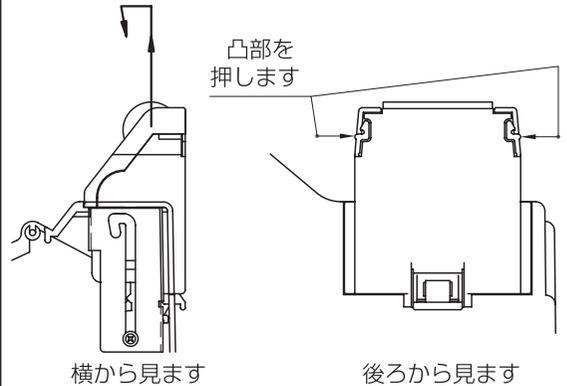


図1

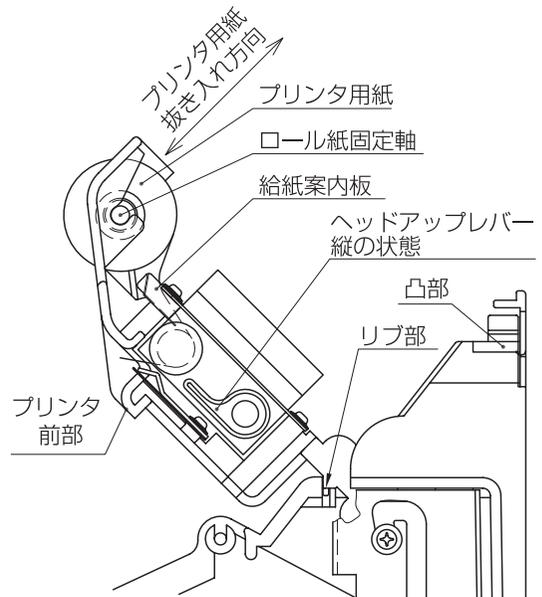


図2

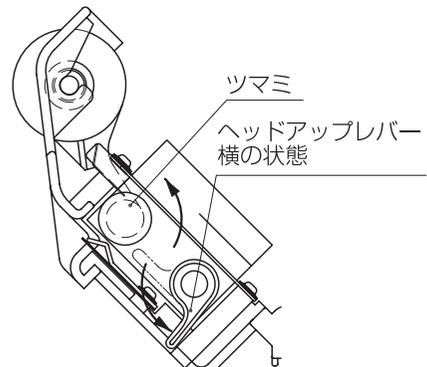


図3

■エラー表示 (エラーが発生するとカウンタ表示部にエラーコードが点滅表示します。)

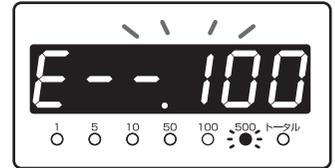
①センサエラー

【原因】電源スイッチ  ON時に、硬貨センサが押されています。

【点検箇所】点灯している金種モニタランプの硬貨を取り除きます。

【復帰方法】クリアスイッチ  を押します。

(例) 500円のセンサエラーの場合



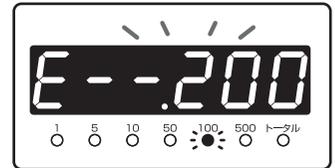
②硬貨詰まりエラー

【原因】計数中に1秒以上硬貨センサが押されています。

【点検箇所】点灯している金種モニタランプの硬貨を取り除きます。

【復帰方法】クリアスイッチ  を押します。

(例) 硬貨詰まりエラーの場合



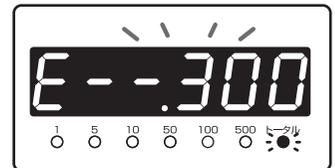
③モータロックエラー

【原因】ホッパー内で硬貨が詰まっています。

【点検箇所】ホッパー内の硬貨を確認してください。
詰まっている場合は取り除いてください。

【復帰方法】クリアスイッチ  を押します。

(例) モータロックエラーの場合



④カバーオープン

【原因】カバーを開けたり、カバーを開けたまま計数スイッチ  を押したとき。計数中の場合はモータが停止します。

【点検箇所】点灯している側のカバーを閉めます。
ホッパーカバーが開いている時 → 1円ランプ点灯
計数部カバーが開いている時 → トータルランプ点灯

【復帰方法】自動復帰します。

(例) ホッパーカバーが開いているとき



(例) 計数部カバーが開いているとき



⑤オーバーランエラー

【原因】バッチ機能のときにバッチ枚数がオーバーランしてコインボックスが数枚増加しています。

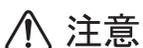
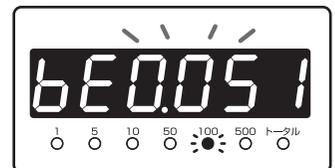
【点検箇所】点灯している金種のコインボックス内

【復帰方法】例の場合はバッチ枚数が1枚オーバーランしてコインボックスが51枚になっています。

このときは、コインボックスの硬貨を他へ移す際にコインボックスにオーバーした1枚を残してください。

 を押すとエラー表示は解除されますので計数を続けてください。
計数を行わない場合は、 を押すとエラー表示は解除できます。

(例) 100円が51枚になったとき

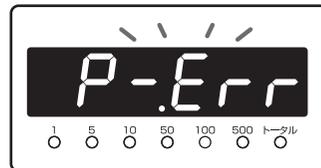


注意

●クリアスイッチを2秒間長押しすると現在までの計数データが消去されてしまいます。

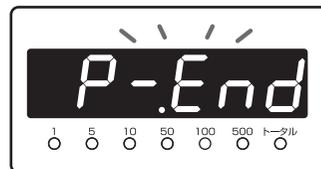
⑥ プリンタエラー

- 【原因】 プリンタが接続されていません。
または、電源スイッチ  ON時にエラーがあります。
- 【点検箇所】 プリンタ、プリンタケーブル、プリンタ用紙、
プリンタヘッドアップレバー
- 【復帰方法】 プリンタを接続、点検した後、電源スイッチ  ONで
自動復帰します。



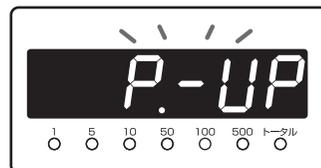
⑦ プリンタ用紙エラー

- 【原因】 プリンタ用紙がありません。
- 【点検箇所】 プリンタ用紙を交換してください。
- 【復帰方法】 自動復帰してエラー前の表示に戻ります。



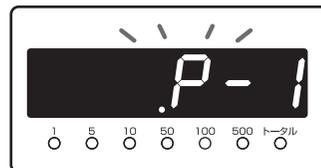
⑧ プリンタヘッドアップ

- 【原因】 プリンタのヘッドがアップしています。
- 【点検箇所】 ヘッドアップレバーを縦にしてください。
- 【復帰方法】 自動復帰します。



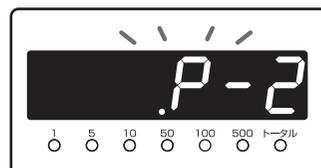
⑨ プリンタ電源異常

- 【原因】 プリンタのVp電源が許容範囲外になっています。
- 【点検箇所】 当社サービスセンターまでお問合せください。



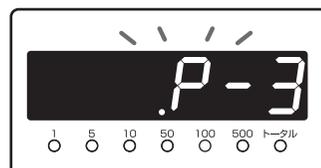
⑩ プリンタヘッド温度異常

- 【原因】 プリンタのヘッド温度が-10℃以下か80℃以上になっています。
- 【点検箇所】 ヘッド温度が-5℃～75℃になると印字可能になります。
- 【復帰方法】 自動復帰します。



⑪ プリンタ通信異常

- 【原因】 プリンタからの応答がありません。
- 【点検箇所】 プリンタ、プリンタケーブル。
- 【復帰方法】 プリンタを接続した後、電源スイッチ  ONで自動復帰
します。



参考

●エラー時の印刷キャンセルの場合

- プリンタに関するエラーが表示された場合は、クリアスイッチ  を押すことで一時的に解除できます。
- ・(例)プリンタ用紙エラー **P-End** のときに補充する用紙がない場合は、 を押すとエラーは一時的に解除されますので、続けて計数ができます。
 - ・(例)電源ON時にプリンタ用紙が無い場合は、エラー **P-Err** が表示されますが、 を押すと同様に計数をすることができます。

注意

- クリアスイッチを2秒間長押しすると現在までの計数データが消去されてしまいます。

■モード設定 (バッチ機能の各モード切替えをします)

●バッチ機能のモードを切替えることにより、全金種から金種別の枚数設定値を内部メモリに記憶することができます。

- 1.バッチモードを1または2に変更すると、バッチの設定枚数が内部メモリに記憶されます。
主電源をOFFにしても設定枚数は内部メモリに保持されています。
- 2.バッチモードには下の種類があります。

| モード表示 | モードの種類 | モード内容 | 設定枚数記憶 | |
|-------|--------|-------------|-------------|-------|
| | モード0 | 全金種共通枚数設定 | なし (初期値50枚) | 工場出荷時 |
| | モード1 | 全金種共通枚数任意設定 | あり | |
| | モード2 | 金種別の枚数任意設定 | あり | |

⚠ 参考

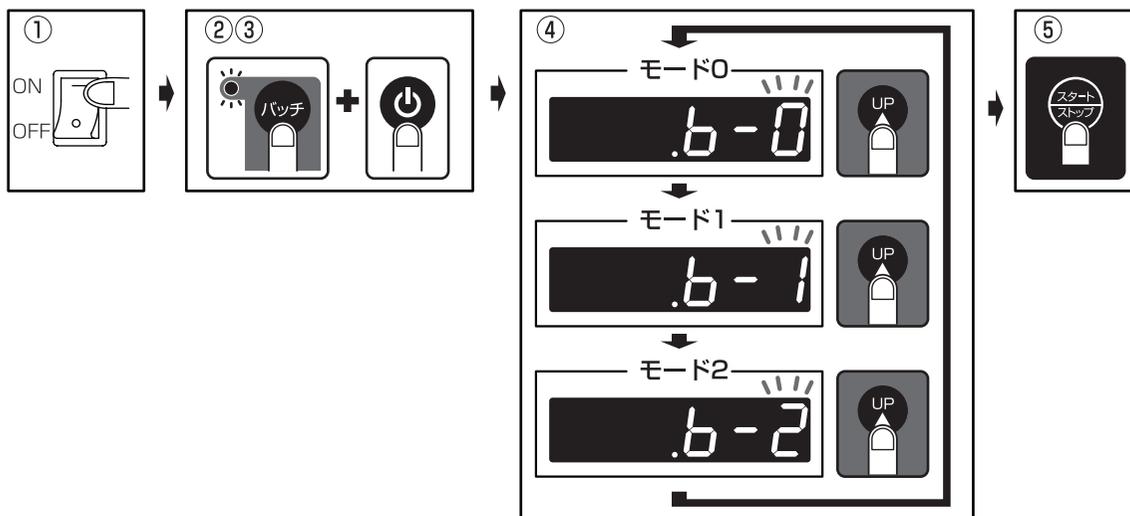
- 全金種共通枚数任意設定 6金種 (1円~500円硬貨) のバッチの枚数を任意の数に設定することができます。
- 金種別の枚数任意設定 6金種 (1円~500円硬貨) のバッチの枚数を各金種毎に任意の数に設定することができます。

3.モードの変更時の手順

- ①主電源スイッチをONにします。
- ②バッチスイッチを押したまま電源スイッチを押して電源をONにします。
- ③モード表示に切替わりますのでバッチスイッチと電源スイッチを離します。
- ④バッチUPスイッチを押して , , のいずれかにします。
- ⑤計数スイッチを押して表示しているモードを記憶してください。
- ⑥全点滅後、待機状態 を表示して設定は完了します。

⚠ 参考

- 設定途中で電源を切ったり、計数スイッチ を押さないとモード内容は記憶されません。
計数スイッチ 押すことによりモード内容を内部メモリに記憶します。



■計数方法③ バッチ機能の「モード1」を使用する場合（全金種共通枚数任意設定記憶）

1.10ページの「■計数方法② バッチ機能を使用する場合」と同様です。



⚠ 参考

- 計数スイッチ  を押すと設定したバッチ枚数がメモリに記憶されて計数を開始します。
設定したバッチ枚数は、バッチスイッチをもう一度押してOFF（バッチランプ消灯）しても消去されません。
- 計数スイッチを押すと、電源スイッチおよび主電源スイッチをOFFしても設定内容は保持されています。
- バッチの枚数設定値は、1～9999枚です。
- コインボックスの容量 1円：約105枚 5円：約120枚 10円：約100枚
50円：約120枚 100円：約105枚 500円：約80枚

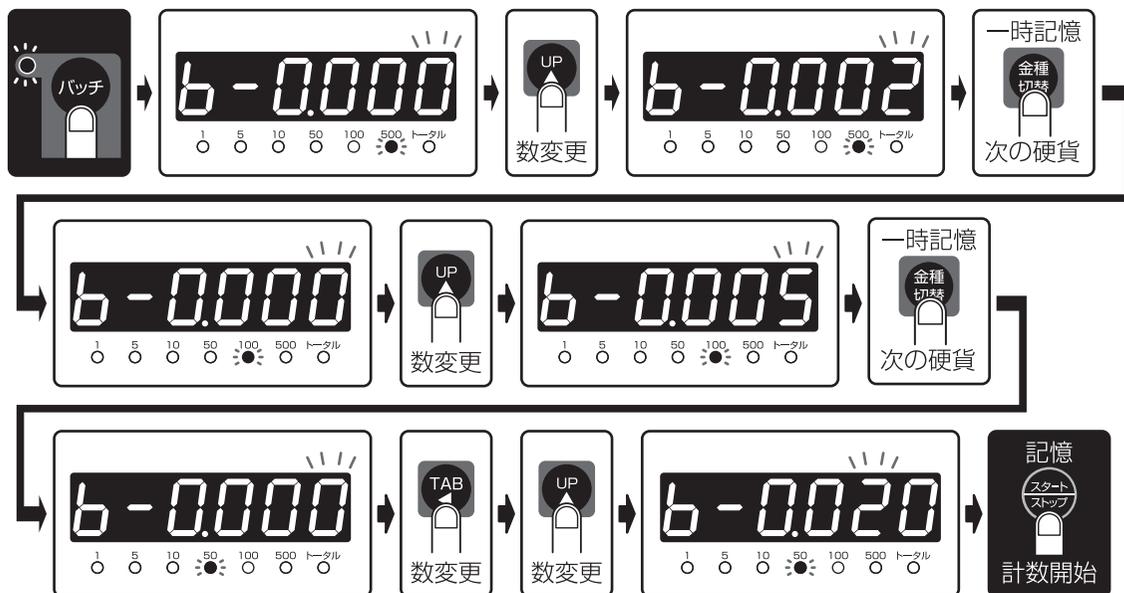


- バッチの枚数設定によってはコインボックスから硬貨があふれる場合があります。
- バッチ設定枚数値が0のときは、通常の計数になります。
- 設定途中で電源を切ったり、計数スイッチを押さないと設定枚数は記憶されません。

■計数方法④ バッチ機能の「モード2」を使用する場合（金種別の枚数任意設定記憶）

1. バッチスイッチを押します。
2. 金種切替スイッチを押して金種モニターランプを動かして枚数設定を行いたい硬貨の位置に合せます。
3. TABスイッチで桁を決めて、UPスイッチで数値を決定します。
4. 金種切替スイッチを押すと、その硬貨のバッチ枚数が一時的にメモリに記憶されて次の硬貨の設定ができます。
5. 他の硬貨を設定するときは、金種切替スイッチを押して同様に枚数を決定してください。
6. 計数スイッチを押すことにより、設定されたバッチ枚数がメモリに記憶されて、計数を開始します。

【例：500円硬貨を2枚、100円硬貨を5枚、50円硬貨を20枚に設定する場合】



■本体の清掃方法

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は水か中性洗剤を布に含ませ、硬くしぼってから拭き取ってください。



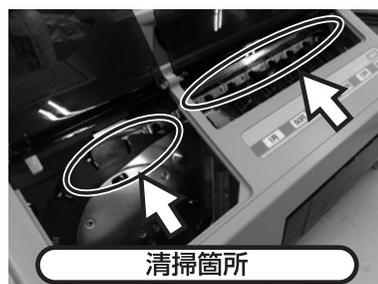
注意

- 清掃にはティッシュペーパーやペーパータオルを使用しないでください。外装に細かい紙粉や紙くずが付着したり、内部に入ると故障の原因になります。
- 故障の原因になりますので水や中性洗剤を直接本体にかけないでください。
- シンナー、ベンジン、アルコール等の群発性の化学薬品は変形や変色を発生させたり、故障の原因となりますので、本体の外装には使用しないでください。

■硬貨通路の清掃方法

- 清掃は3日に1回行なってください。誤計数の原因の95%は清掃不良によるものです。
- レールワイパー機能により、硬貨通路を常に清潔に保っていますが、それでもこびりついてしまう汚れがありますので、次の様に清掃をしてください。

1. 付属の綿棒に薄めた中性洗剤またはアルコールを少量つけ、写真のレール部、背もたれ部、ホッパー、ホッパーとレールの継ぎ目に、こびり付いた汚れを完全に落としてください。
2. 綿棒では落ちないような汚れは付属の樹脂スティックで削り落とし、その後、綿棒で清掃してください。
3. 汚れを落とし終わった後は乾いた綿棒で水分をきれいに拭き取ってください。
4. 機械内部に水滴が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。



注意

- 流通している硬貨は油汚れ等で汚れていますので、清掃を怠ると通路上に汚れが蓄積され誤計数となります。
- 故障の原因になりますので、硬貨通路に油性の洗剤等は使用しないでください。
- 清掃不良での修理依頼は保証期間内でも有償になります。



警告

- 怪我の原因になりますので清掃の前に必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから外してから行ってください。
- 怪我の原因になりますので、ホッパー部や計数部を直接指で触らないでください。

⚠ 参考

- レールワイパー機能
チェーンに取付けられたクリーン板を使用して、硬貨通路のごみ汚れ等が積層しない様に除去する機能です。

■ 日常の点検

本計数機を快適にご使用頂くため、日常の点検として下記の現象にご注意ください。

1. コインボックスに異金種の硬貨が混入していないかどうか点検してください。
2. 合計金額および計数枚数表示が合っているかどうか点検してください。

上記の現象は故障ではありません。変形硬貨、キズのある硬貨や計数部内にある硬貨通路の汚れによる計数ミスが考えられます。

⚠ 参考

- ご使用しないときは、ホッパーカバー、計数部カバーを閉め、付属のビニールカバーをかけてください。



- 製品を保管するビニールカバーは小さなお子様がかぶらないように注意してください。

■ 仕 様

| 型式 | DCV-10 | DCV-10P (プリンタ付) |
|-----------|---|-------------------------|
| 計数金種 | 国内発行硬貨6金種 (1円、5円、10円、50円、100円、500円) | |
| 計数速度 | 450枚/分 (1円、50円硬貨) | |
| ホッパー容量 | 100円硬貨時 400枚 | |
| コインボックス容量 | 1円：約105枚、 5円：約120枚、 10円：約100枚、 50円：約120枚、 100円：約105枚、 500円：約80枚 | |
| 計数処理 | 混合硬貨を選別・計数し、金種別にコインボックスへ収納 | |
| 表示器 | 数字表示器6桁、トータルランプ1個、金種モニタランプ6個、 バッチ処理ランプ1個、金額表示ランプ1個、枚数表示ランプ1個 | |
| 操作スイッチ | 主電源スイッチ、電源スイッチ、計数 (スタート/ストップ) スイッチ、 バッチ処理スイッチ、バッチUPスイッチ、バッチTABスイッチ、 表示切替スイッチ、金種切替スイッチ、メモリスイッチ、クリアスイッチ | |
| 表示内容 | 金種別枚数、金額、合計金額、金種別総枚数、総金額、総合計金額 | |
| プリンター印字内容 | | 年月日時分、計数印字、総合計印字 |
| 諸機能 | オートストップ機能、カバーオープンストップ機能、レールワイパー機能 バッチ機能：初期設定は50枚、全金種任意枚数設定 (1~9999枚)、 金種別任意枚数設定 (1~9999枚) | |
| 外形寸法 | 470(W)×210(D)×257(H) mm | 470(W)×212(D)×277(H) mm |
| 重量 | 8.0kg | 8.4kg |
| 電源 | AC100V ±10% 50/60Hz | |
| 消費電力 | 待機時 5 W、 動作時 10 W | |
| 使用環境 | 屋内専用、温度5℃~35℃ 湿度80%RH以下 (ただし結露なきこと) | |

この度は、株式会社ダイト製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

取扱説明書に従って正しくご使用ください。

この製品保証書は、株式会社ダイト（以下当社という）が以下に定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理を行うことをお約束するものです。

製品名・型式：硬貨計数機 DCV-10・DCV-10P

保証期間：お買い上げ日より1年間

ご購入日：_____年_____月_____日

修理連絡先：お買い上げ店にご連絡ください。

販売店名：_____

製品保証規定

- 当製品の保証は、製品保証書の保証期間に取扱説明書に従って正常な使用をしていたにも関わらず、故障が発生した場合に無償修理を約束するものです。
- 保証期間内の無償修理は、故障製品の代替品を当社からお客様に送付し、故障製品を当社宛に返送していただくことを指します。修理が完了しましたら、再度当社から修理完了品をお客様に送付いたします。また、その際の送料は、全て当社負担とさせていただきます。
- 保証期間内であっても以下の項目に該当する場合は、保証の対象外とさせていただきます。
 - 1.使用上の誤り、又は不当な修理や改造によって生じた故障、損傷
 - 2.輸送、移動、落下等によって生じた故障、損傷
 - 3.火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、静電気、異常電圧等の外部要因によって生じた故障、損傷
 - 4.浸水、泥、埃、その他異物の混入による故障、損傷
 - 5.車両、船舶等に搭載されたことによって生じた故障、損傷
 - 6.消耗部品
 - 7.製品保証書の字句を不当に書き換えられた場合
 - 8.本製品の使用によるその他の製品の損害
 - 9.その他合理的事由により、当社が保証対象外と判断した場合
- 製品保証書は、日本国内のみで有効です。

製品に関するお問い合わせは下記までお願い致します。



本 社： 〒112-0014 東京都文京区関口3-4-3

URL: <http://www.daito-inc.co.jp>